

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床心理学概論		必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>対人援助に必要とされる臨床心理学的な基本的理論、態度、技法について学ぶことを目的とする。本講義は公認心理師資格に必要な科目として対応しているが、将来の職業選択に関係なく心の健康への知識及び対処法や心の悩みや問題を抱えた人への対人援助の基礎を理解し、科学的な援助方法について学ぶことを目的とする。</p> <p><概要>臨床心理学の基本的理論について講義し理解を深めるために、個人ワークやグループワーク等の演習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	臨床心理学の知識を確実に修得するため、積極的な授業への参加や授業内での疑問への解消が望ましい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	公認心理師の基礎と実践 第3巻 臨床心理学概論/監修:野島一彦 他/編:野島一彦 他/遠見書房 よくわかる臨床心理学 改訂新版/編:下山晴彦/ミネルヴァ書房/2011年				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人を尊重する倫理性と心の悩みや問題を抱えた人への深い理解を身につけている。			HC(1)、(3)	
②	臨床心理学の歴史及び体系について理解し、説明できる。			HC(5)	
③	臨床心理学の代表的な基礎理論について理解し、説明できる。			HC(5)	
④	臨床心理学的な援助技法について理解し、説明できる。			HC(5)、(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 臨床心理学の概要について学ぶ。	講義	授業内容の復習を行う。		1
2	臨床心理学の歴史について学ぶ。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		3
3	臨床心理学の定義・基本的な理念・体系について学ぶ。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		3
4	精神分析的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
5	分析心理学的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
6	行動論・認知論的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
7	ヒューマニスティック・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
8	システミック・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
9	グループ・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
10	コミュニティ・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
11	ナラティブ・アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
12	非言語的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
13	統合的アプローチについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
14	日本生まれのセラピーについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4
15	総括を行う。	講義	これまでの授業内容を振り返り各自整理する。		9
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		70	0	0	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	20	0	0	0	5	25	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	20	0	0	0	10	30	
問題を発見・解決する力		10	0	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ知識の理解及び授業内容に関する自分の意見を述べた上で、考察を行う問題を出題し、評価する。				後日試験の総評及び必要に応じて個別に解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションペーパーの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述してもらおう。授業内でのワークの取り組みについて評価する。				次回の講義の始めに、前回のリアクションペーパーについてのコメントし解説する。ワークについては、実施後コメントを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	教育相談室及びクリニック、特別支援学校等での発達支援等の現場経験があり、臨床心理士及び公認心理師として 24 年の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	専門性と現場経験を活かして、臨床心理学に関する基本的知識を分かりやすく教授する。							
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。							